

原発ゼロをめざす長野県連絡会

第 22 号

2014. 8. 26

事務局 〒381-0034 長野市高田 276-8 長野県労連内

TEL 026-223-1683 FAX 026-227-1783

ホームページ <http://w2.avis.ne.jp/~krm-jim2>

「なくそテ原発 柏崎大集会」が 1400 人で成功！ 長野県からも約 100 名が参加し、柏崎刈羽原発の再稼働は許さないと連帯・行動

「なくそテ原発 柏崎大集会」が 8 月 24 日に柏崎市アルフォーレで開催されました。集会には目標の 1000 人を大きく上回る 1400 人が集まり大成功しました。実行委員会の呼びかけに応じて、長野県からも約 100 名が参加しました。一番遠くからの参加は飯田市の皆さんで「朝暗いうちから出てきました」とのこと。飯水岳北連絡会と坂城町、県連絡会がマイクロバスで参加しました。

植木史将実行委員長は、「柏崎刈羽原発の再稼働の動きは許せない。フクシマを忘れないの声を大にして廃炉まで頑張ろう」と挨拶しました。元国会福島原発事故調査委員会の崎山比早子が「終わらない福島原発事故と放射能一国会事故調査でわかったこと」と題して講演しました。崎山さんは「福島原発では毎日 400 トンの地下水が流入し彫像タンクは急造で耐久年数は 3～5 年、それに対しストロンチウムやトリチウムの半減期がそれぞれ 29 年と 12 年で大変な状況。柏崎刈羽原発は中越沖地震で 11 cm 隆起したことから、再稼働はとんでもない。すべての原発の廃炉を」と訴えました。

各界からの訴えでは、長野県から飯水岳北の小林さん、原発に頼らない未来を創ろうプロジェクトの田澤さんが発言しました。集会では、「福井地裁判決の意義」についても特別報告がありました。

集会後には、デモ行進が行われました。長野県保険医協会の鈴木会長が横断幕をもってデモの先頭に立ちました。沿道からの手を振っての応援もあり、住民の皆さんの関心の高さを実感しました。

参加者の皆さんからは、「元気をもらった」「また地域で頑張りたい」との感想が寄せられました。

